

今日から始める！災害への備え

日頃から確認しておきましょう

6月は土砂災害防止月間です。これから大雨の時期を迎え、洪水や土砂災害などが発生する可能性が高くなります。

これらの災害による被害を防ぐためには、自分の身は自分で守るという意識を持つことが大切です。ハザードマップなどで自宅や勤め先などの災害リスクや避難所を確認し、

災害に備えるとともに、正しい情報の入手方法などを確認しましょう。

また、災害時には、気象情報を確認しながら、早めの避難を心がけましょう。

問合せ▶防災・危機管理課(☎232-9152)



お近くの避難所を確認しておきましょう

市では、すべての市民センター、市立小・中・義務教育学校を指定避難所としています。災害時には、まず市民センターを避難所として開設し、状況に応じて市立小・中・義務教育学校を開設します。

日頃から、自宅や勤め先などの近くの指定避難所や避難する経路を確認しておきましょう。

また、災害時の「逃げ遅れ」を防ぐために、自分の避難のためのスケジュール表である「マイ・タイムライン」を事前に作成しておきましょう。

マイ・タイムライン⇒



避難所の場所や混雑状況を
確認できます

「VACAN Maps」では、地図上で避難所の場所を確認できます。

さらに、確認したい指定避難所を選択すると、避難所の情報や混雑状況が確認できます。



VACAN Maps⇒



✓ ハザードマップを確認しておきましょう

市では、洪水、土砂災害などの際に、注意・警戒が必要な区域を示した、ハザードマップを公表しています。**ハザードマップで、注意・警戒が必要な区域、避難する場所などを、家族で確認しておきましょう。**ハザードマップは、防災・危機管理課、市ホームページで入手できます。

ハザードマップ⇒



✓ 災害情報の入手方法を確認しておきましょう

災害時は正しい情報を入手して、冷静に行動することが大切です。市では、災害が発生するおそれのある段階から、各種媒体をとおして情報を発信します。

- 市ホームページ
- 市メールマガジン(防災メール)
- FMぱるるん(FM76.2MHz) 市メールマガジン(防災メール)⇒
- 防災行政無線
- 防災アプリ(Yahoo!防災速報)
- 緊急速報メール 防災アプリ
- 市公式SNS(LINE、X、Face book) (Yahoo!防災速報)⇒



LINE⇒



X⇒



Face
book⇒

✓ 非常持出品や備蓄品を確認しておきましょう

災害時には、電気・ガス・水道などのライフラインが使用できなくなる場合があります。ライフラインが復旧するまでの生活を想定し、飲料水や食料、生活用品や衛生用品など、必要な物資を準備しておきましょう。

【非常持出品】

最低限必要な物資をすぐに持ち出せるよう、非常持出品をリュックサックなどにまとめておきましょう。

【備蓄品】

自宅の安全が確保され、在宅避難をする場合に備え、3～7日程度生活できる備蓄品を準備しておきましょう。

※市の防災パンフレットに、非常持出品や備蓄品のチェックリストを掲載していますので、参考にご覧ください。

パンフレット⇒



道路の冠水などの情報を提供してください

▼土砂がたまっていたら連絡を

側溝や集水ますに土砂がたまっている場合は、道路管理課(☎232-9195)に連絡してください。

▼冠水していたら情報提供を

道路などが冠水している場合は、日時、場所、写真などの情報を、郵送またはEメールで、水戸市建設計画課(〒310-8610、✉kansui-jiyoho@city.mito.lg.jp)へ提供してください。